

# 80年代に通用する労働運動を創り出そう!

# 日刊 勤労千葉

79.12.13

No. 298

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
電話二三五八〇九・公衆電話(22)七二〇七



## 八カ月の激闘に勝利し、二波の闘いを貫徹した自信と確信にみちた定期大会!

勤労千葉第3回定期大会は、12月11日、9時より千倉町中央公民館において代議員・傍聴者約90名の結集をもって開催された。そして、大会は、勤労「本部」反動分子による勤労千葉破壊攻撃の闘いをはじめとする一年余の闘いを総括し国鉄35万人体制攻撃方針80春闘を突破口とする80年代を展望した闘う方針を圧倒的に確立した。

## 議長団に小山(館山)・日暮(成田)両代議員を選出

千倉町中央公民館の大会々場は、準備を担当する館山支部によってすでに前日のうちに会場が作られ準備は万全。9時5分、西森副委員長が力強く開会を宣言。

つづいて、館山支部の佐久間支部長から歓迎のあいさつ。議長団には、地元館山支部から小山代議員と二波のストライキを貫徹し、ますます闘う支部体制を打ち固めている成田支部の日暮代議員を選出。

## 活発な質疑討論を展開!

来賓あいさつ、メッセージ、激闘の紹介、経過報告へと設事が進み、昼食休けい後、経過に関する質疑討論に入り、多くの代議員から活発な発言が行なわれた。発言は主に、この間の組織問題に集中したが、その中の主な発言は次のようなものである。

### 勤労「本部」に関する意見としては、

- ① 貨物安定宣言をもちって国鉄再建合理化に率先協力している。
- ② 79春闘処分凍結II森山発言の前に屈服し、労使協調の道を進んでいる。
- ③ 才106回定中委では最大の闘争果敢であるべき国鉄35万人体制に対する闘う方針が全く出されてない。
- ④ 10・22、11・1ストに対し「スト反対」を叫びたて、公然とわれわれ

の闘いに敵対してきた。⑤ 「本部」の反動性ますます明らかになってくる。もはや労働組合ではない。など。一方、ゆが勤労千葉にあって、

- ① 10・22や一波、11・1や二波の闘いを貫徹し、当局・空港公団に大きな打撃を与えた。
- ② 取場生産点の力関係は、われわれが主導権を握っている。
- ③ 二波の闘いは佐倉支部と共に闘うことは出来なかつたが、佐倉支部が勤労千葉に結集してくる大きな契機となった。
- ④ ジェット燃料備蓄ゼロめざして日常的に闘いを積み重ねていく。
- ⑤ 二波のストに対し、全国の多くの人々からカンパ・激闘・激布・差し入れなど物心両面の支援がよせられた。雇の厚さを感じた。など……。

## 三里塚反対同盟から石橋・北原両氏がかけつけ、あいさつ

これらの意見に共通していることは、八カ月間にわたる勤労「本部」反動集団との激闘に勝利し、10・22や一波、11・1や二波の減産・ストライキを闘いぬいた自信と確信にみちみちていることであつた。

その他、交渉関係、組織問題、反合闘争、などについても約2時間にわたって「経過」についての質疑討論が行なわれた。このあと、三里塚反対同盟の石橋副委員長、北原事務局長の両氏から連帯と激励のあいさつを受け、運動方針・財政方針(案)の提起があり、18時すぎや一日目の設事を終了した。